

## 8. 床上浸水対策特別緊急事業の事後評価

### (2)-② 事業実施による環境の変化

#### 動植物の生息・生育環境の確保状況～殿内橋下流の例

改修前の河道状況



河道沿いに寄り州が分布し、植生が繁茂していた

施工後の状況 (H20)



コンクリート護岸の整備による植生の消失

寄土の実施

H21. 1 施工完了直後



H22. 8 20ヶ月経過後



植生の再生  
ミゾソバ、マコモ、  
ヒメガマなど

40

## 8. 床上浸水対策特別緊急事業の事後評価

### (2)-② 事業実施による環境の変化

#### 重要種等の生育地の保全～コウホネ生育地

OH15年度実施の環境調査委託において、重要保護生物A指定のナガバコウホネと同一B指定のコウホネが2箇所に見出された

OH17年度には、上流部の支流の源川でもナガバコウホネが発見される

コウホネ: 重要保護生物B



ナガバコウホネ: 重要保護生物A



コウホネ 平成16年8月2日撮影(作田川自生地にて)  
スイレン科の沈水・抽水性の多年性草本／北海道～九州、朝鮮に分布

41

## 8. 床上浸水対策特別緊急事業の事後評価

### (2) ② 事業実施による環境の変化

コウホネ生育地の保全

## コウホネ保護の基本方針

### ○自生地の保全

…作田川で発見された自生地は、改修により環境が大きく変わってしまわないよう保全していく

### ○株の移植

…改修による自生地消滅のリスクを分散するために流域内で移植を行い、個体群の維持を試みる



42

## 8. 床上浸水対策特別緊急事業の事後評価

### (2) ② 事業実施による環境の変化

コウホネ生育地の保全

## 自生地の保全対策

### 下流群落の問題点

⇒ 群落を形成している河岸が掘削されてしまう

### ～下流群落の保全策～

※緑色はコウホネ群落



群落が岸際にくるように河道法線を変更

43

## 8. 床上浸水対策特別緊急事業の事後評価

### (2) ② 事業実施による環境の変化

コウホネ生育地の保全

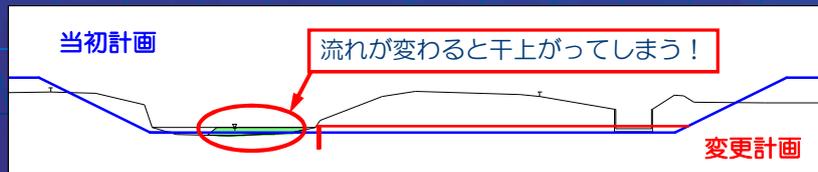
#### 上流群落の問題点

⇒ 拡幅により流速の極端な低下、河床材料の変化が懸念される



#### ～上流群落の保全策～

※緑色はコウホネ群落



湧筋を残し防護ラインに杭柵を施工し複断面化

44

## 8. 床上浸水対策特別緊急事業の事後評価

### (2) ② 事業実施による環境の変化

コウホネ生育地の保全

上流群落箇所の河道掘削（暫定形）時に杭柵を施工した。

#### 施工状況

コウホネ上流群落



施工前(H16)  
群落面積：41㎡



施工後(H21)  
群落面積：51㎡



45

## 8. 床上浸水対策特別緊急事業の事後評価

### (2)② 事業実施による環境の変化

#### 重要種等の生育地（湿地）の保全～成東・東金食虫植物群落



成東・東金食虫植物群落の概要  
日本で最初の天然記念物

「成東・東金食虫植物群落」は、1920年（大正9年）、日本で初めて天然記念物に指定された。指定地内には8種の食虫植物をはじめとして、沢山の貴重な野草が生育している。

作田川の改修による群落内の湿地的環境の変化が懸念された

46

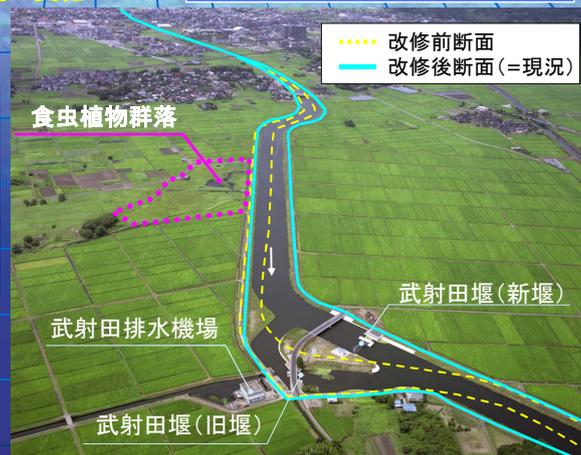
## 8. 床上浸水対策特別緊急事業の事後評価

### (2)② 事業実施による環境の変化

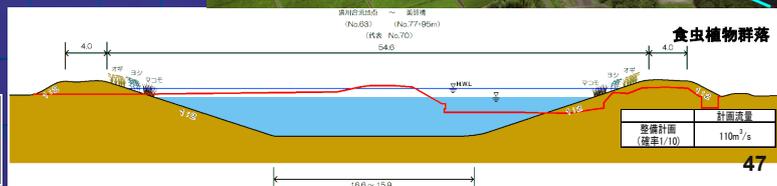
#### 食虫植物群落（湿地）の保全

#### 食虫植物群落保全対策

- ・ 食虫植物群落を改変しないように左岸側へ拡幅
- ・ 拡幅に伴う河川水位低下に寄って生じる地下水位低下を武射田堰による水位調節により防止



凡例  
— 改修前  
— 改修後 (=現況)



47